

第 2 回皮膚老化に関する国際会議：

皮膚老化と日焼け止め原料

2005 年 4 月 6・7 日

プログラム

2005 年 4 月 6 日(水)

8:30 - 挨拶

9:00 - 一般的紹介

- 皮膚老化における日光の役割
- 日光による皮膚老化の原因と結果
- 日光が皮膚に伴う危険の推定

9:30 - 企業が抗老化日焼け止めを市場に出した理由とは

10:00 - 抗老化製品と日焼け止め製品のマーケット紹介

- 存在している製品は何か？
- 市場に対してどんな分割りが適用されるか？
- マーケットの最新情報と傾向
- 2002-2003-2004 年の比較：その成長とは？

10:30 - 休憩

11:00 - 色素沈着の活性と産生要因

- メラニン合成に影響を与える要因とは？硫黄 - メラニン細胞刺激ホルモン(M S H) - 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH) - エストロゲン - プロスタグランジン - ビタミン D3 - コルチコイド？
- 色素沈着の活性要因とは？チロシン副産物、メラニン前駆
- コスメと栄養での利用方法

11:45 - 経口抗酸化防止薬

- それらに関係することとは何か？
- 年齢と日焼けの度合いに応じる、量と質による忠告とは？

- 経口抗酸化予防薬の biodisponibility に影響与える要因とは？

12:30 - 昼食

14:00 - 光防止と化粧品

- スクリーン、フィルターとフリーラジカル抑制：紹介
- 各種類の化粧品調合における限度と有用性
- フィルターの新世代

15:00 - <6 分間プレゼンテーション>

SIBA : 化学原料専門と TINOSORB

MERCK : RONACARE ECTOINE

SILAB : HELIOSUN , 抗ラジカルディフェンスに刺激を与えるジャスミンのフラボノール

COLETICA : Smartector

EXSYMOL : Alistin, Melargin

16:00 - 休憩

16:30 - 安全で有効な日焼け方法とは？

- どんな製品を使うべきか？サプリメントあるいは化粧品？
- 最も有効な組み合わせと使用方法
- その化粧品のために選ぶべき生薬
- 日焼け後製品と日焼け製品の有用性
- 消費者にすべき忠告

17:30 - 一日目終了

2005 年 4 月 7 日(木)

9:00 - 日焼け止めのための生薬

- 無水、乳剤、水性製品の選択
- 各生薬の有用性と技術的な制限
- 生薬原料の特殊性
- 消費者の傾向と好みとは？その理由とは？

- 10:00 - 日焼け止め製品の効果をどうテストすべきか？
- サンケア指数 (IP,SPF) の確定
 - 耐性の推定
 - 耐水性の推定
 - 製品の安定性の推定
 - 免疫抑制と光過敏性に対する染色性特性、鎮痛特性、光防護特性
- 10:45 - 休憩
- 11:15 - 日焼け原料と製品統制の専門家の意見
- 日焼け止め効果コスメのラベリング：何を、どうやって、使えるのか：
UVA,UVB,IPD,PPD,IR ,耐水、しわ防、抗老化、完全紫外線止め、強力日
焼け止め
 - 化粧品とサプリメント製品に対し予測できる主張とは何か？
- 12:30 - 昼食
- 14:00 - 日焼け止めと抗老化剤の市場の争点、傾向とマーケティング
- 消費者の希望とは？生薬、サンケア指数、組み合わせ、子供用商品・・・
 - 美か安全、どちらを優先すべき
- 15:00 - 会議終了